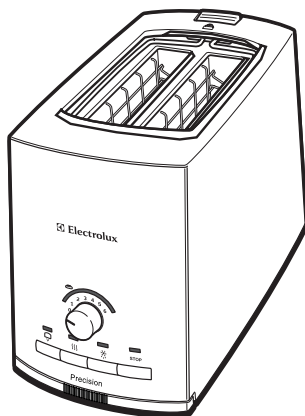




エレクトロラックス モーターライズドトースター Precision シリーズ ETS6000

家庭用電気トースター 取扱説明書(保証書付き)

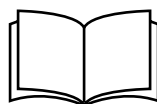


もくじ	ページ
1. 安全上のご注意	①～③
2. 各部のなまえとはたらき	④～⑤
3. 焼けるパンの種類と 大きさの目安	⑥
4. 操作のしかた	⑦～⑫
5. お手入れのしかた	⑬～⑭
6. 故障かな?と思ったら	⑮
7. 仕様	⑮
8. アフターサービス	⑮

製品保証書添付

この度は、エレクトロラックス・ジャパン(株) 製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みにになり、正しくご使用ください。お読みにになった後は、大切に保存してください。



必ずこの取扱説明書
をお読みになってか
らご使用ください。

1. 安全上のご注意

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

(絵表示の例)



警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」）が描かれています。



「必ず実行していただくこと」を表します。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本製品を他人に譲渡されるときは、この取扱説明書を必ず添付してください。
- 「取扱説明書」に添付してあります、「製品保証書」に販売店の明記がないものは、保証期間中でも有償修理になる可能性があります。

警告

改造はしないこと また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしないこと 火災・感電・けがの原因となります。 修理はお買い上げの販売店または、当社のサービスセンターにご相談ください。	コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないこと 感電・ショート・発火の原因となります。
本体を水につけたり、水をかけたりしないこと ショート・感電の原因となります。	金属製のもの(ナイフ・フォークなど)を中に入れないこと 感電の原因になります。
本体内部に手を入れないこと 感電・けが・やけどの原因になります。	電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込むこと 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。
電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使うこと 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。	カーテンなどの可燃物の近くで使用しないこと 火災の原因になります。
子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと やけど・感電・けがをするおそれがあります。	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の原因となります。
本体に使用している梱包材(ビニールなど)を幼児や子供の手の届くところに置かないこと 窒息・けがをするおそれがあります。	電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしないこと コードが破損し、火災・感電の原因となります。
	故障した場合には電源プラグをコンセントから抜くこと 火災・感電の原因となります。

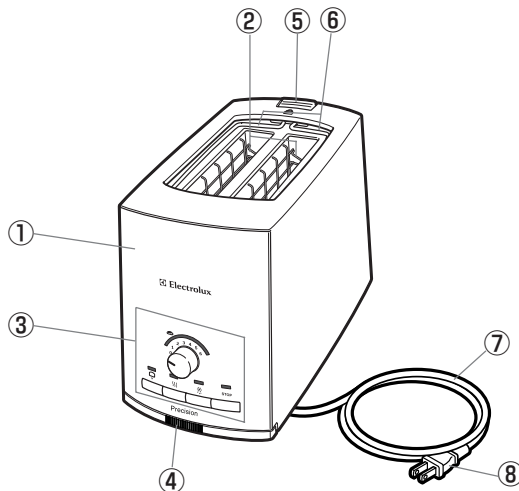
⚠ 注意

バターやジャムを塗ったパンを焼かないこと 調理物が発火する原因となることがあります。	 禁止	本体や電源コードは完全に冷めてから片付けること 火災の原因になります。	 禁止
使用中は本体から離れないこと 調理物が発火する原因となることがあります。	 禁止	必ずパンくずトレイを取り付けること 火災の原因となることがあります。	 禁止
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜くこと けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	 コンセントから プラグを抜く	不安定な場所や熱に弱い敷物(たたみ、じゅうたん、ビニール製のテーブルクロスなど)の上では使わないこと 火災の原因になります。	 禁止
使用後はお手入れすること 調理くずや油分が残ったまま調理すると、発煙・発火の原因となることがあります。	 禁止	電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと 感電やショートして発火することがあります。	 プラグを 持って抜く
壁や家具の近くで使わないこと 蒸気または熱で家具を傷め、変色・変形の原因になります。	 禁止	お手入れは本体が冷めてから行うこと 高温部に触れ、やけどのおそれがあります。	 注意
指定寸法以外や変形したパンを焼かないこと 発火・異常動作の原因となることがあります。	 禁止	使用中・使用後しばらくは、高温部に触れないこと やけどの原因となります。	 禁止
温度の高いところに本体を置かないこと 故障の原因となります。	 禁止	火気(コンロ・ストーブ)などの近くで使わないこと 火災の原因となります。	 禁止
使用後に電源コードと金属部などの温度の高い部分とを接触させて本体を運ばないこと コードの被覆が溶け、絶縁不良になるおそれがあります。	 禁止	使用後は完全に冷めてから本体を動かすこと やけどのおそれがあります。	 禁止
バンウォーマーを使用する際は、焼き色調節ダイヤルを「1」か「2」で使うこと 「3」以上で使用すると発火・異常動作の原因となることがあります。	 禁止		

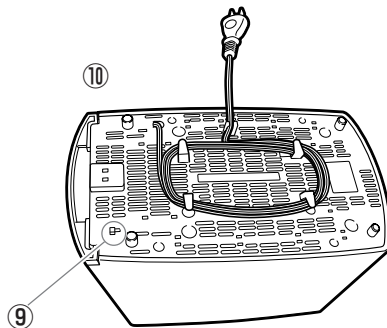
2. 各部のなまえとはたらき

本 体

正面図



底面図



① 本体

② パン投入口

③ 操作部

次ページ参照

④ パンくずトレイ

パンくずを受けます。

⑤ バンウォーマーレバー

押し下げるとバンウォーマーがセットされます。

⑥ バンウォーマー

食パン以外のタイプのパン（クロワッサンやロールパンなど）を上に乗せて温めます。

⑦ 電源コード

⑧ 電源プラグ

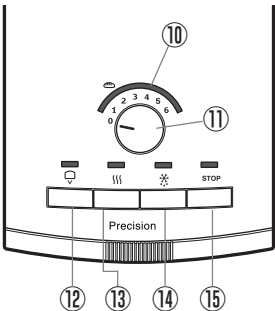
⑨ 操作音スイッチ

運転時の操作音を ON/OFF します。

⑩ 電源コード巻き付け収納

電源コードを巻き付けて収納します。

操作部



⑩ 焼き色調節ランプ

焼き色調節ダイヤルで設定された値までのランプが点灯します。
焼き上がりに合わせて、ひとつずつランプが消灯していきます。

⑪ 焼き色調節ダイヤル

パンの焼き色を 1 (淡) ~ 6 (濃) から調節します。「0」は OFF、「3」が標準です。

⑫ セットボタン ()

押すと、パンを本体に格納して焼き始めます。

⑬ 温め直しボタン ()))

トーストしたパンの温め直しに使います。
再度、カリッとした感触が楽しめます。

⑭ 解凍ボタン (❄)

冷凍保存したパンを焼くときに使います。

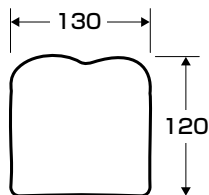
⑮ STOP ボタン (STOP)

途中で止めるときに使用します。
3秒以上長押しをしてください。

3. 焼けるパンの種類と大きさの目安

食パンの場合

- ・ 厚さ 12 枚切～ 4 枚切／斤が目安です (MAX28mm)。
- ・ 大きさは、タテ 120mm・ヨコ 130mm までのもの。
- ※市販のトーストは、メーカーによって大きさ、厚みが異なります。



ロールパンやクロワッサンなどの場合

- ・ バンウォーマーに乗る大きさが目安です。

焼き色調節について

- ・ 焼き色の調節は目安です。材料の温度・種類・量・室温などで異なりますので、焼き具合を見て加減してください。
- ・ 同じタイプのパンを、前回と同じ焼き色調節ダイヤルの値でトーストした場合、前回と同じような焼き色になります。
- ・ パンの焼き色は、明るめの黄色かうすい茶色になるように焼き色調節ダイヤルをセットすることをお勧めします。

パンの種類	焼き色調節
ライ麦パン、黒パンなど	焼き色調節ダイヤルを高め (5～6) に調節
少し時間が経ったパン	焼き色調節ダイヤルを低め (1～2) に調節



注意

- 次のようなパンは焼かないでください。
 - ・ 変形したパンや反っているパン
中で引っかかるおそれがあります。
 - ・ バターやジャムを塗ったパン
こげるおそれがあります。
- 残りのパンは密封し、乾燥や反りを防いで保存してください。

4. 操作のしかた

初めてお使いになるときには、においが出ることがあります。お使いになる前に、風通しのいいところに本体を移動してから、焼き色調節ダイヤルを「6」にして気にならなくなるまで、数回空焼きをしてください。空焼きをするときには、パンを入れないでください。

パンの焼きかた

食パンを焼く



注意

- 焼き上がりはパンの状態や室温によって多少変わりますので、その都度焼き色調節ダイヤルで調節してください。
- 次のようなパンは、中で引っかかって上がらないことがありますので注意してください。
 - ・ 小さすぎるパンや大きすぎるパン
 - ・ 変形したパンや反っているパン
 - ・ 表面が荒れたり凸凹になっているパン

1 本体を安定した平らなテーブルの上に置き、電源プラグをコンセントに差し込みます

※焼き色調節ダイヤルが「0」(OFF)の位置になっていることを確認してください。

2 焼き色調節ダイヤルをお好みに合わせて調節します

- 毎回、電源を入れた後、焼き色調節ダイヤルを「0」以外の数字にセットすると、初回のみすべてのランプが点滅し、短く3回ブザーが鳴ります。これは本機の動作チェックで故障ではありません。

※本体底面部の操作音スイッチがOFFになっている場合は、以下の操作中の音は鳴りません。

- 最初にお使いになるときは、焼き色調節ダイヤルを「1～3」に合わせ、焼き加減を試してから、お好みに合わせて調節してください。
- 標準位置は「3」です。軽い焼き色に仕上げる「1」から、こんがりとした焼き色に仕上げる「6」まで、6段階の焼き色から選べます。
- 設定した位置まで焼き色調節ランプが点灯します。

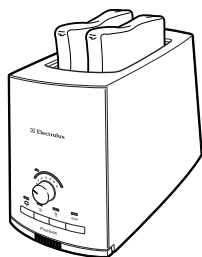


3 1枚、または2枚のパンをパン投入口に入れます

- 1枚だけで焼く場合は焼き色調節ダイヤルを低め（1～3の間）に調節してください。
1枚だけ焼いたときは、パンの内側が外側よりも濃く焼けます。

○お願い

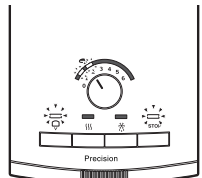
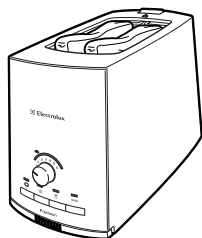
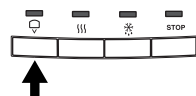
本体のパン投入口にはパン以外のものを入れないでください。バターやジャムを塗ったパンは入れないでください。



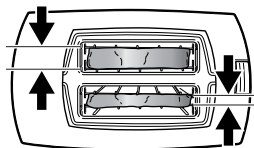
4 セットボタン（)を押します

パンが本体に格納され、加熱が始まります。
セットランプと STOP ランプが点灯します。

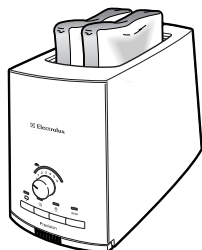
- 焼き上がりの経過に合わせて焼き色調節ランプが1つずつ消灯していきます。
- 加熱を途中で止めたいときは、STOP ボタンを長押しします。加熱が止まり、パンが自動で上がります。
- 本機の使用時、内部や上部の金属部分が非常に熱くなります。投入口には絶対に手を触れないでください。
- パンを焼いているあいだはトースターから離れないでください。



- セットしたパンの厚さが均一でなくても、左右の面がムラのないように、自動的に中央に寄せられます。（自動中央寄せ機能）



5 焼き上がると、すべてのランプが点滅し、同時に短く低音で3回、高音で1回ブザーが鳴り、パンが自動で上がります



⚠ 注意

- パン投入口に詰まったパンは、先が尖っていない木製のもの（わりばしなど）を使って取り出してください。その場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。金属製のフォークやナイフなどを使って取り出すと、感電するおそれがあります。また、取り出す際は、やけどをするおそれがありますので本体内部の電熱部分に手を触れないように注意してください。
- パンの焼き色が、明るめの黄色またはうす茶色になるよう調節することをおすすめします。こげが強い焼き色の部分を食べると身体に害をおよぼすおそれがあります。

6 焼き色調節ダイヤルを「0」にセットして、電源プラグをコンセントから抜きます



便利な機能

トーストしたパンを温め直す（温め直しボタンの使いかた）

一度トーストして冷めてしまったパンを温め直すときに使います。

1 電源プラグをコンセントに差し込み、パン投入口にパンを入れます

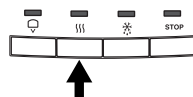
2 焼き色調節ダイヤルを「0」以外にセットします

※ 温め直しの際は、焼き色調節ダイヤルの設定は反映されません。すべてのランプが点滅し、短く 3 回ブザーが鳴ります。

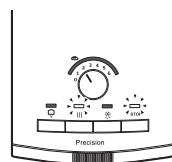
※ 本体底面部の操作音スイッチが OFF になっている場合は、以下の操作中の音は鳴りません。

3 温め直しボタン（)を押します

パンが本体に格納され、加熱が始まります。温め直しランプと STOP ランプが点灯し、焼き色調節ランプが消灯します。



4 焼き上がると、すべてのランプが点滅し、同時に短く低音で3回、高音で1回ブザーが鳴り、パンが自動で上がります



5 焼き色調節ダイヤルを「0」にセットして、電源プラグをコンセントから抜きます



冷凍したパンを焼く（解凍ボタンの使いかた）

冷凍庫などで冷凍保存したパンを解凍しながら焼くときに使います。
通常より長めに通電されます。

1 電源プラグをコンセントに差し込み、パン投入口にパンを入れます

2 焼き色調節ダイヤルをお好みに合わせて調節します

すべてのランプが点滅し、短く3回ブザーが鳴ります。

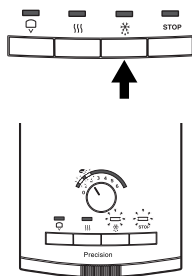
※ 本体底面部の操作音スイッチが OFF になっている場合は、以下の操作中の音は鳴りません。

3 解凍ボタン（※）を押します

パンが本体に格納されます。

解凍ランプと STOP ランプが点灯します。

● 冷凍状況やパンの種類によって、焼け具合が異なります。初めてご使用の場合は焼き色調節ダイヤルを1～2に合わせてお試しください。



4 焼き上がると、すべてのランプが点滅し、同時に短く低音で3回、高音で1回ブザーが鳴り、パンが自動で上がります

5 焼き色調節ダイヤルを「0」にセットして、電源プラグをコンセントから抜きます



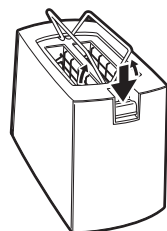
ロールパンやクロワッサンなどを温める（バンウォーマーの使いかた）

食パン以外のタイプのパンを温めるときに、バンウォーマーを使います。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます

2 本体の後ろ側にある、バンウォーマーレバーを押し下げます

バンウォーマーがせり上がります。

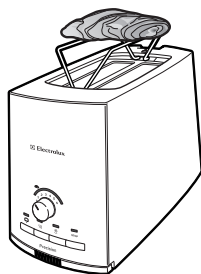


3 バンウォーマーにパンを乗せて、焼き色調節ダイヤルを「1」か「2」にセットします



注意

-  マークのある「2」を上限にしてください。「3」以上で使用しないでください。
- バンウォーマーより大きいパンを乗せないでください。
- バンウォーマーに乗せたパンが落ちないように注意してください。本体上部の金属部にパンが触れると危険です。

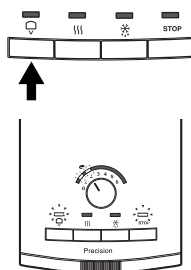


4 セットボタン（）を押します

加熱が始まります。

セットランプと STOP ランプが点灯します。

※ 本体底面部の操作音スイッチが OFF になっている場合は、以下の操作中の音は鳴りません。



5 焼き上がると、すべてのランプが点滅し、同時に短く低音で3回、高音で1回ブザーが鳴ります。必要に応じてパンの面を裏返し、再度セットボタン（）を押します

6 焼き上がると、すべてのランプが点滅し、同時に短く低音で3回、高音で1回ブザーが鳴ります

7 焼き色調節ダイヤルを「0」にセットして、電源プラグをコンセントから抜きます

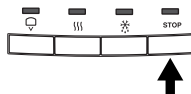


注意

- 使用中は金属部が高温になります。やけどやけがの原因となりますので直接手で触れないでください。
- バンウォーマーを使わず、パン投入口に直接パンを乗せないでください。
- 使用後のバンウォーマーは高温になっています。十分に時間をおき、バンウォーマーが完全に冷めてからバンウォーマーレバーを上げて元の位置に戻してください。

途中で止める (Stop ボタンの使いかた)

加熱を途中で止めるときは Stop ボタンを長押ししてください。加熱が取り消され、パンが自動で上がります。

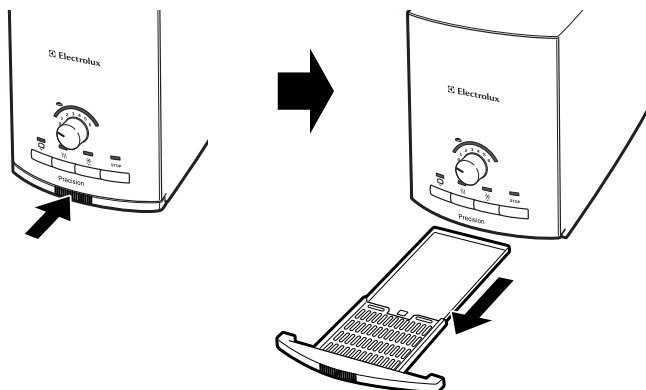


パンくずトレイの使いかた

1 電源プラグをコンセントから抜きます

2 本体が冷めるまで待ちます

- 本体底面のパンくずトレイを一度軽く押し込んでから、引いて取り外し、パンくずを捨ててください。パンくずを捨てた後は、パンくずトレイを元の位置に戻します。



注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。電源を入れたまま作業すると感電するおそれがあります。

5.お手入れのしかた



警告

本体を水につけたり、水をかけたりしないこと
ショート・感電の原因となります。



注意

お手入れは冷めてから行うこと
高温部に触れやけどの原因となります。

ご使用後は電源プラグをコンセントから抜くこと
絶縁劣化による感電や火災の原因となります。

コンセントから必ず電源プラグを抜き、本体が完全に冷めてからお手入れをしてください。

本体・バンウォーマーの汚れ

固く絞った清潔な濡れ布巾または乾いた布巾などで、本体の外側・バンウォーマーを拭きます。



注意

- 苛性洗剤* や研磨剤の入った洗剤は使わないでください。
* 食器洗浄機の専用洗剤として多く使われている洗剤で、コーティング機能を低下させるおそれがあります。
- 本体や電源コード・プラグを水や液体に浸さないでください。

パンくずトレイのそうじ

何枚かパンを焼くとパンくずがトレイにたまります。本体底面のパンくずトレイを一度軽く押し込んでから、引いて取り出し、パンくずを捨ててください。パンくずを捨てた後は、パンくずトレイを元の位置に戻します。詳しくは、⑫ページの「パンくずトレイの使いかた」をご覧ください。



注意

- パンくずがたまると故障の原因となります。
また、パンくずが燃えるおそれがありますので、定期的にそうじをしてください。

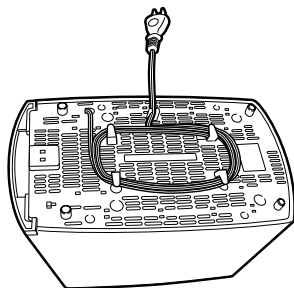
片付けについて

電源コードは、本体が十分に冷めてから下図のように本体の底面部に巻き付けて収納してください。



注意

- 使用時は必ず電源コードをすべて出した状態でお使いください。



6. 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。



警告

分解・改造・修理をしないこと

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
電源が入らない ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込む
パンが下がらない	ダイヤルを回しましたか？	ダイヤルを 0 以外に合わせる (P ⑦参照)
	セットボタンを押しましたか？	セットボタンを押す (P ⑧参照)
	パンが小さすぎたり大きすぎたりしていませんか？	目安に合ったパンを使用する
パンが上がって こない	パンが変形したり反ったりしていませんか？	目安に合ったパンを使用する
	パンが厚すぎたり薄すぎたりしていませんか？	
	パンが小さすぎたり大きすぎたりしていませんか？	
パンの焼き上がりが 悪い	焼き色調節ダイヤルをお好みの焼き色に合わせましたか？	焼き色調節ダイヤルをお好みに合わせる パンの状態に合ったボタンを選ぶ
	同じパンを二度焼いていませんか？（濃く焼ける）	
	冷凍したパンを解凍ボタンを押さずに焼いていませんか？（淡く焼ける）	
	パンが薄すぎませんか？（焼きムラ）	
操作音がしない	本体底面部の操作音スイッチが OFF になっていませんか？	操作音スイッチを ON にする

7. 仕様

品名	モーターライズドトースター
型式	ETS6000
電源	100V 50/60Hz
消費電力	900W
外形寸法 (約)	幅 170 × 奥行 305 × 高さ 205mm
質量 (約)	2.0kg
コードの長さ (約)	1.5m

8. アフターサービス

保証について

- 1 このトースターには、保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証書の記載内容により修理いたします。
(保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください)
- 3 保証期間後の修理は…
販売店または当社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるとき

- 1 ⑮ページの「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
- 2 それでも異常があるときは、使用を止めて、お買い上げ店または当社サービスセンターまでご連絡ください。

品名：モーターライズドトースター
型名：ETS6000
故障の状態（できるだけ詳しく）

ご自分での修理はしないでください。
大変危険です。

愛情点検

●長年ご使用のトースターの点検を！



こんな
症状は
ありま
せんか

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさい臭いがする。
- 本体にさわると時々電気を感じる。
- 時々運転しないことがある。
- 運転中、異常な音がする。
- 自動的に電源が切れるはずなのに切れないときがある。
- こげくさい臭いがする。
- その他異常、故障がある。



使用
中止

故障や事故防止
のために、必ず
販売店に点検を
ご相談ください。

補修用性能部品について

当社は、このトースターの補修用性能部品を製造打切後6年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品が破損したとき

お買い上げの販売店または当社にお問い合わせのうえ、お買い求めください。

お問い合わせの際には、品名、型名をご連絡ください。

お問い合わせは

アフターサービスについてわからないことは、お買い上げ店または当社サービスセンターまでご連絡ください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
ご相談窓口

〒391-0011

長野県茅野市玉川字原山11400-1080

サービスセンター（修理・部品注文 受付）

フリーダイヤル：0120-13-7117

TEL：0266-70-1444

FAX：0266-79-4499

営業時間 平日（月～金）：AM9:00～PM5:30

土日祝（年末年始）：休日

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

- (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
- (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、販売元にご連絡ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または販売元にご相談ください。

3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、販売元へご連絡ください。

4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
- (ホ) 本書のご提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- (ト) 離島からの送料については運送費のみ負担願います。
- (チ) 異常電圧およびお客様の不注意による故障等につきましては保証期間中でも、有償修理になる可能性がありますのでご注意願います。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

修理メモ

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または販売元にお問い合わせください。

*保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、お買い上げの販売店または販売元にお問い合わせください。

* This warranty is valid only in Japan.

Memo

持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には、**無料修理規定に基づき無料修理を行うこと**をお約束するものです。**詳細は、⑰ページの無料修理規定をご参照ください。**

機	種	名	モーターライズドトースター Precisionシリーズ ETS6000
※ お 客 様	ご住所（〒 - ）		
	お名前		様
	電話（ ） -		
※お買い上げ日			年 月 日
保 証 期 間			本体お買い上げ日から 1年間
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話（ ） -		

Thinking of you

 **Electrolux**

元売発売

エレクトロラックス・ジャパン株式会社

小物家電事業部

T 108-0022

東京都港区海岸3-2-12 安田芝浦第2ビル

TEL: 03-5445-3360 (代表)

FAX : 03-5445-3362

サービスセンター（修理・部品注文 受付）

フリーダイヤル：0120-13-7117

<http://www.electrolux.co.jp>

※印欄に記入のない場合は無効となりますのでご確認ください。